

夢のかけはし



人工衛星で夢を届けたい

昭和34年郷之原町生まれ。鹿屋工業高校・九州産業大学を卒業後、昭和57年NECエンジニアリング株式会社に入社。のちに日本電気株式会社（NEC）に移籍。現在、NEC高性能小型レーダ衛星「ASNARO-2」プロジェクトマネージャー（58歳）

※打ち上げ前の「ASNARO-2」をバックに撮影

今年1月にJAXA内之浦宇宙空間観測所から打ち上げられた、小型ロケット「イプシロン3号機」に搭載されていたのが「ASNARO-2」という高性能小型衛星です。私はこの人工衛星の製造から運用まですべての責任を負う総括責任者。打ち上げ後も、宇宙空間の軌道上で、設計通りに機能しているか確認を行っています。

宇宙開発関連部門でした。以来35年以上、一貫して宇宙関連事業に携わっています。

人工衛星に関わる仕事と言うと華やかなイメージがありますが、それは打ち上げ時のほんの少し、1%にも満たないほど。残りの99%以上は、長期に渡り失敗が許されず地味で根気のいる仕事です。それでも、仲間と共に苦難を乗り越えて完成した人工衛星が、宇宙でしっかりと役割を果たしてくれた時の喜びは本当に大きいものです。

思い出深いのは、平成19年9月に打ち上げられた月周回衛星「かぐや」。私は大型人工衛星組み立て試験の取りまとめの一翼を任ざ

「ASNARO-2」プロジェクトマネージャー

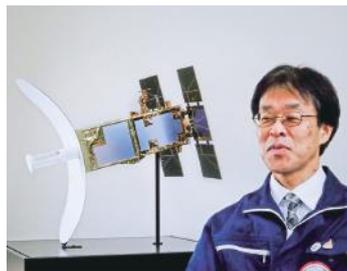
郷原 利裕 さん

れ、その重責は大変大きなものでした。それでも、打ち上げ後に「かぐや」が撮影した画像「地球の出」の美しさを見た時、それまでの苦労が吹き飛び、涙が流れました。あの感動は今でも忘れません。

人工衛星は皆さんの生活をより良くするためのものです。広く社会に貢献できるものです。「ASNARO-2」も、今後、災害監視などの分野で期待されています。

宇宙は多くの人々に夢と感動を与えてくれるもの。これからも、この感動をもっと多くの人に伝えていきたいと思っています。

最後に、イプシロン打ち上げでは鹿屋・大隅の皆さんに助けられました。心から感謝しています！



【写真右】「かぐや」が撮影した「日の出」ならぬ「地球の出」

【写真左】「ASNARO-2」の模型を前に想いを語る郷原さん



7月17日(火) 9時5分から FMかのや に郷原利裕さんが出演予定